

環境経営レポート

可能性は未知。



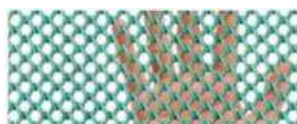
共和鋼業株式会社

2022 年度

(対象期間 2022 年9月1日～ 2023 年8月31日)



◆ ニットフェンス (Nit fence)



◆ 極細目菱形金網



◆ 落石防止金網 & 落石防護柵用金網



◆ ネットフェンス用カール加工菱形金網



◆ ネットフェンス用菱形金網



◆ ゆきもちくん



エコアクション21
認証番号 0013597

作成日： 2023年10月20日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
各事業所の取組紹介	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11

我々の製品は「未然」がテーマです。

常に皆様の近くで起こりうる事故を防いでいます。

常に変化している時代・生活環境・・・

変わりゆく生活環境



「緑の下の力持ち」的存在。

刻一刻と生活環境が変化しつつある今、我々共和銅業株式会社は皆様の日々気にかけないようなところで「緑の下の力持ち」として社会の安全・発展に寄与してまいりました。もちろんこれからもその姿勢は不変のものであり、激動の時代を迎える21世紀も皆様の安全・快適生活を第一に考え、常に皆様の近くで皆様の生活を陰で支える存在でありたいと考えております。

ごあいさつ

共和鋼業株式会社はひし形金網を製造しています。主に落石防護柵や立入防止柵、屋根落雪防止に用いられるまさに地球環境に携わる仕事をしてまいりました。これらは人々の安心・安全な暮らしを守るためのものです。昨今は台風や大雨、大雪などの自然災害が、従来にないほどに大きなものとなり、人々の暮らしを脅かしています。この一番の要因は地球温暖化であり、人々の安心・安全な暮らしを守る弊社の事業もこの地球温暖化をストップすることに積極的に取り組む必要があると考えます。地球環境の改善により自然災害を小さなものとし、それに落石防護柵、落雪防止などを組み合わせることまで一貫して取り組むことで、人々がより良く暮らせるように事業を展開していく。これがこれからの共和鋼業株式会社のあり方だと考えます。カーボンニュートラルを目指し節電、省エネ、ゴミの削減、ロスの削減などできることから全員一丸となり、楽しく前向きに継続的に取り組んでまいります。

環境経営方針

環境経営理念

「人々の安心・安全でワクワクする暮らしづくりにひし形金網で貢献する」ために、ひし形金網の製造から環境経営に取り組みます。生産や事業活動の中で生じる二酸化炭素の発生を抑制する意識を高め、特にロスの削減、節電などに重点的に取り組みます。これはコストダウンや競合に先駆けて環境経営を進めることが他社との明確な差別化となり、事業の発展につながります。その他地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に継続して取り組みます。

お客様に喜んでいただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 溶剤などは適正に管理し、使用量の削減に努めます。
6. カーボンニュートラルの観点から環境に配慮した製品をお客様にお届けします。
7. 各自が環境への意識を高め、楽しく前向きに、継続して取り組みます。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
9. 環境に配慮した工事に努めます。



制定日：2021年10月19日

代表取締役社長 森永 耕治

組 織 の 概 要

更新日：2023年10月20日

(1) 名称及び代表者名

共和鋼業株式会社
代表取締役社長 森永 耕治

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-4
東大阪工場 大阪府東大阪市水走5-8-10
米原工場 滋賀県米原市西円寺893

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 森永 耕治 TEL：090-4902-5989
担当者 東大阪工場 鶴谷 晃太 TEL：090-5650-2466

(4) 事業内容

ひし形金網の製造、フェンス設置工事

(5) 事業の規模

売上高 5億6000 万円

	本 社	東大阪工場	米原工場	合計
従業員 名	1 名	10 名	3 名	14 名
延べ床面積 m^2	35.4 m^2	884.1 m^2	514.0 m^2	1433.5 m^2
敷地面積 m^2	35.4 m^2	760.3 m^2	1500.0 m^2	2295.6 m^2

(6) 事業年度

9 月 1 日 ～ 8 月 31 日

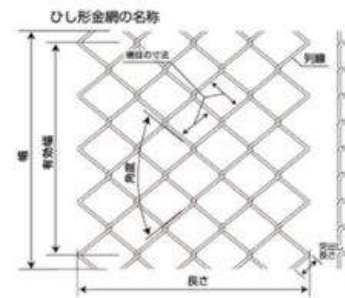
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 共和鋼業株式会社
対象事業所： 本 社
東大阪工場
米原工場

活動： ひし形金網の製造、フェンス設置工事

□事業や製品(商品)の紹介

土木用ひし形金網製造
(落石防護用、立入防止柵用)
以下オリジナルブランド
落雪防止用ひし形金網「ゆきもちくん」
「Nitfence」
「AMU UMU」 Netbench
「amiMono」収納ラック、卓上ラック
「グラフィックフェンス」
フェンス設置工事



菱形金網3つの大きな特性

1) 継ぎ・切断が容易である。

螺旋状に加工した列線を組み合わせ接続させているので、容易に継ぎ、切断ができます。

2) 様々な形状に対応。

斜面、凹凸等あらゆる現場の状況に対応できます。

3) 様々な加工が可能。

平造りはもちろんのこと、ナックル(水平・完全)加工、カール加工、ツイスト加工等、様々な加工ができ、又網幅も最大10mまで可能。

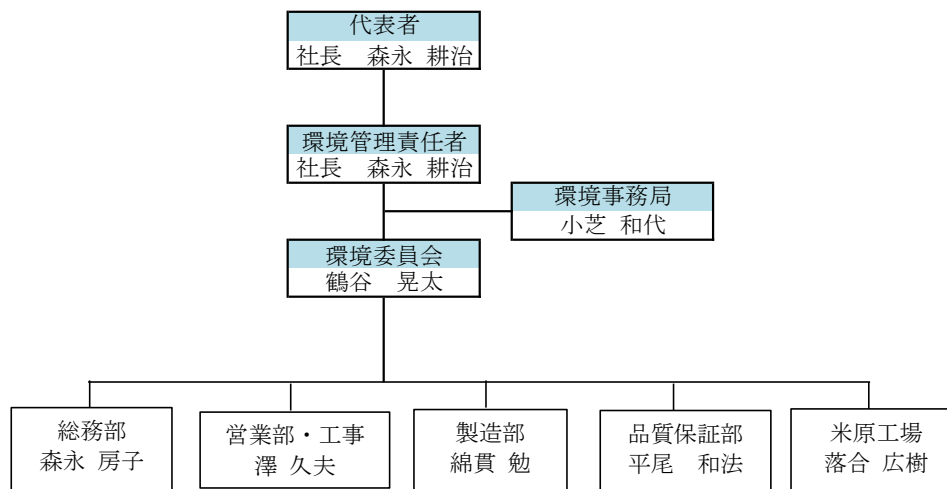
4) 線径と網目の組合せは非常に多様。

線径は1.8mmから5.0mm、網目は径細10mmから最大100mmまで。



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2023年10月20日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・ 環境経営方針の策定・見直し
	・ 必要な経営資源を準備
	・ 全体の評価と見直し
	・ 環境経営計画書承認及び環境経営レポートの承認
	・ 環境経営方針の全社員への周知徹底
環境管理責任者 （定例会で審議する）	・ 環境経営システムの構築、実施、管理
	・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・ 環境経営計画書承認及び環境経営レポートの確認
	・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・ 緊急事態対応試行訓練の実施・記録
	・ 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局
	・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・ 環境活動の実施集計
	・ 環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版の管理
	・ 環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・ 環境経営レポートの作成、公開
	・ 自部門における環境経営方針の周知
各部署の職長	・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・ 自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・ 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・ 自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・ 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動への参加

各事業所の取組紹介

＜本社＞



〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島4丁目3番4号
チサン第6新大阪609号

【本社】

＜東大阪工場＞

〒578-0921
大阪府東大阪市水走5丁目8番10



＜米原工場＞

〒521-0092
滋賀県米原市西円寺893

屋根雪の落雪防止用ネット。
豪雪地帯の北陸地方に距離的に近い「ゆきもちくん」の製造拠点。
運送用ガソリン使用量の低減を図る。



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	46,394	41,185
廃棄物排出量			
一般廃棄物排出量	kg	2,040	1,324
産業廃棄物排出量	kg	19,623	0
水使用量	m ³	196	183
※関西電力(A0272) 令和3年7月度 調整後排出係数を使用。		0.318	0.318

←本年度は元受工事なしのため、
産業廃棄物排出量はゼロであった。
kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

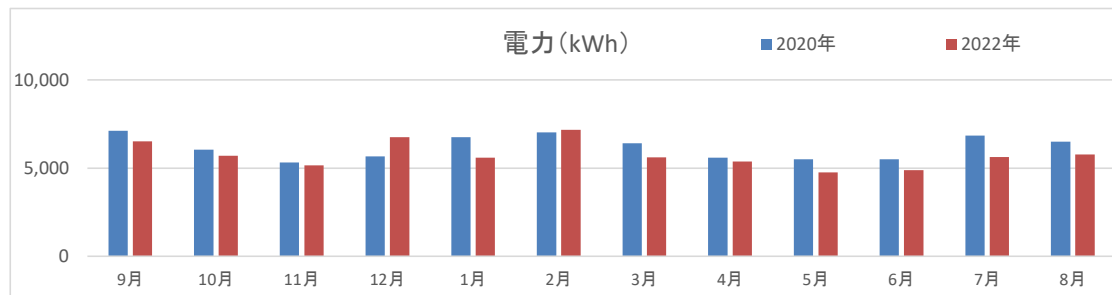
項目	年度	基準値	2022年		評価	2023年	2024年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	23,230	22,998	21,910	○	22,881	22,765
	基準年度比	2020年	99%	94%		99%	98%
	原単位						
自動車燃料による二酸化炭素削減	kWh/千円	0.110	0.109	0.122	×	0.108	0.108
	kg-CO ₂	16,358	16,358	14,984	○	16,194	16,031
	基準年度比	2020年	100%	92%		99%	98%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	6,753	6,685	4,248	○	6,685	6,618
	基準年度比	2020年	99%	63%		99%	98%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	46,341	46,041	41,142	○	45,761	45,414
一般廃棄物の削減	kg	2,040	2,040	1,324	○	2,030	2,020
	基準年度比	2020年	100%	65%		100%	99%
	産業廃棄物の削減						
※今年度元請なし	kg	19,623	19,623	0	○	19,525	19,427
	基準年度比	2019年	100%	0%		100%	99%
	水使用量の削減(市水・井水)						
m ³		196	195	183	○	194	192
	基準年度比	2020年	100%	93%		99%	98%
環境に配慮した製品への取り組み	行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

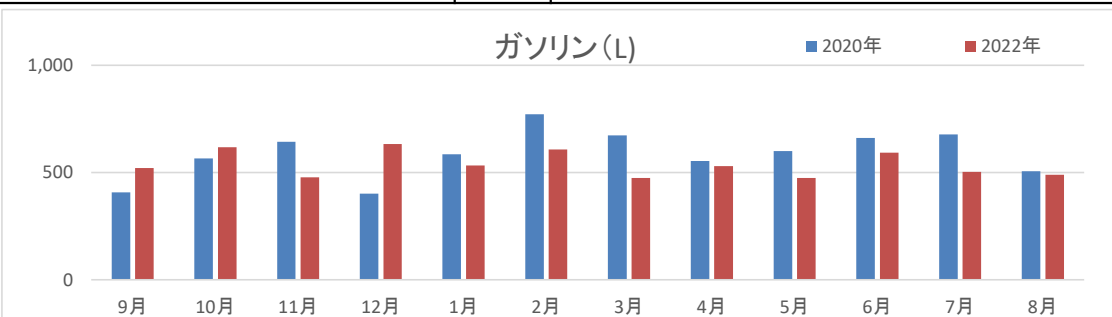
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	排出総量では達成できたが、売り上げが減っていることもあり、原単位では残念ながら増となってしまった。意識して電源OFFに努めてきたので、機械稼働率を上げ、売り上げを上げることが必要であると思われる。こまめな消灯などは引き続き続けてまいりたい。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・機械不使用時の停止	○	
・生産性向上による運転時間短縮	△	
・製品不良率の低減、技能の見える化	△	



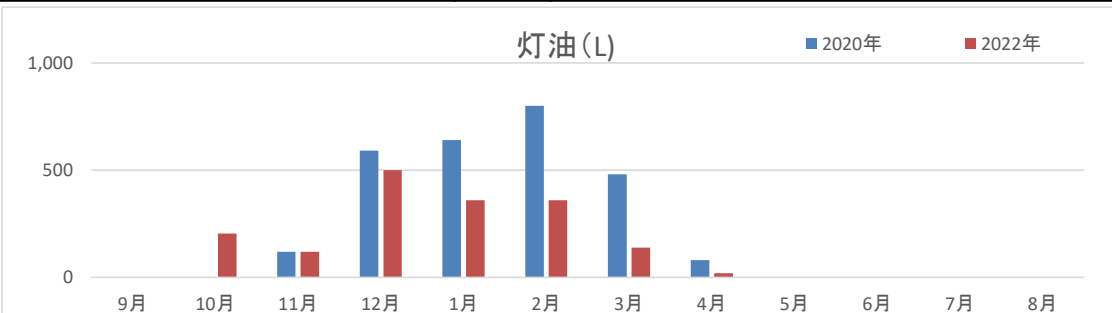
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2020年	7,115	6,026	5,316	5,655	6,749	7,021	6,407	5,602	5,490	5,490	6,840	6,500
2022年	6,520	5,701	5,164	6,740	5,597	7,167	5,612	5,368	4,751	4,873	5,623	5,783

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成となったが、売り上げ減もあり、これをどうとらえるか。次年度以降も積極的に削減に取り組む必要はもちろんだが、売り上げを増やす営業活動も考えていく必要がある。
・アイドリングストップ	○	
・営業活動の見直し（回数・ルート）	×	
・フォークリフトの運用方法（積込の改	△	



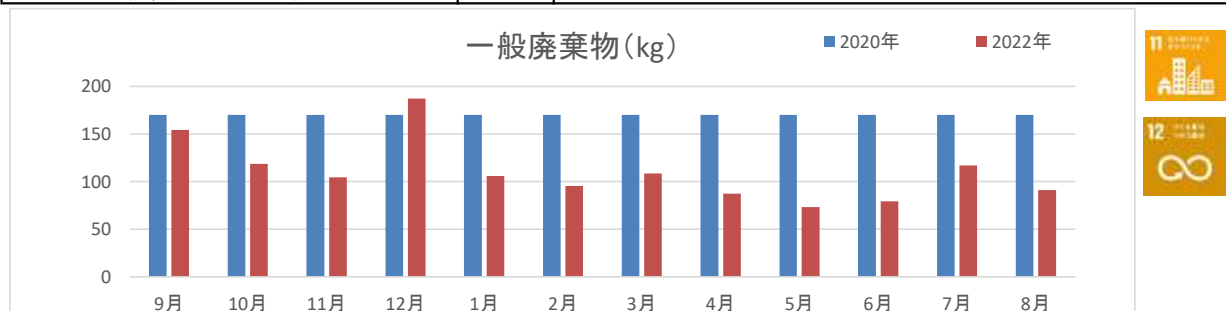
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2020年	407	566	644	401	586	772	674	555	601	661	677	506
2022年	521	618	478	633	533	609	474	530	476	594	503	491

灯油燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	冬に必須である灯油であるが、ここも二酸化炭素排出量が多いので、環境配慮という観点から考えても来年以降も継続して不要時の消火を進めていきたい。
・不要時の消火推進	○	



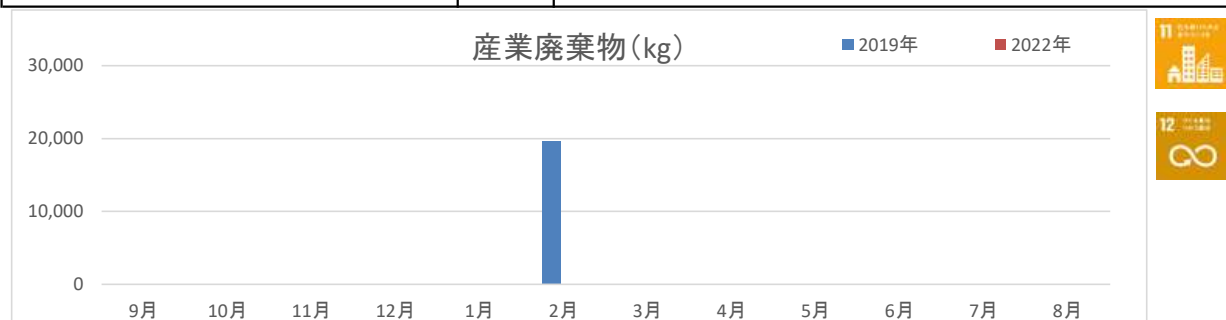
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2020年	0	0	120	592	640	800	480	80	0	0	0	0
2022年	0	206	120	500	360	360	140	20	0	0	0	0

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	数字だけ見ると大きく減らせたように見えるが、基準年の実績が特定の月のものを採用したことで、実際のところはどれだけ減っているか不明である。次年度以降も一層意識を高め、無駄をなくし、少しずつでも減らしていきたい。
・分別の徹底	○	
・帳票データ化による印刷物の削減	△	
・梱包材の再検討	×	
・紙の使用、裏面の使用の徹底推進	○	



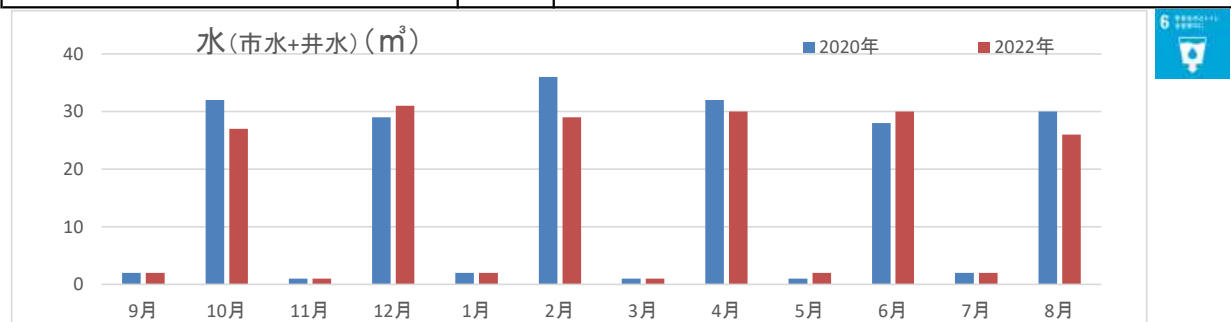
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2020年	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170
2022年	155	119	105	188	106	96	108	88	73	80	117	91

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	ここ最近では元請工事がないが、今後元請工事がある場合は、産業廃棄物の削減に取り組むとともに、適正な処分を行うように心がけたい。
・分別の徹底	△	
・品目別での適切な処分を行う	△	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2019年	0	0	0	0	0	19,623	0	0	0	0	0	0
2022年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水使用量の削減(市水・井水)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標は達成できた。次年度以降、さらに意識高く、削減できるように取り組んでいきたい。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・意識向上	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2020年	2	32	1	29	2	36	1	32	1	28	2	30
2022年	2	27	1	31	2	29	1	30	2	30	2	26

環境に配慮した製品への取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・端材の削減	△	残念ながら現在のところ十分にできているとは言えないが、次年度以降も引き続き検討していきたい。
・ロングセラー商品の開発	×	
・分解・分別しやすい製品の提供	×	
・より効率のよい製造方法の検討	×	

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の高い水準での標準化	△	新製品の開発や用途拡大など少しずつ前に進んでいる。市場投入やPRを積極的に進めていき、売り上げ増にもつなげたい。
・企業価値向上による顧客獲得	△	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	×	
・新製品・商品開発	△	
・働き方改革	△	

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・作業ミスの防止	○	工事自体が少なかったがまずまず取組めたのではないかと。次年度以降も引き続き取り組みを行なって行きたい。
・効率的な工程、材料調達によるロス削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進	○	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

確認日：2023年10月20日

環境関連法規制等名称	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出、マニフェストの遵守
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限、積載物のはみ出し、安全運転管理者等
自動車NOx・PM法	-
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、ワイヤーフォーミング機
振動規制法	空気圧縮機、ワイヤーフォーミング機
水質汚濁法	油類・有害物質の保管
下水道法	除害施設
消防法	消火器、誘導灯、危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷蔵庫
高圧ガス保安法	酸素ガス・アセチレンガス
家電リサイクル法	エアコン・テレビ他
顧客要求事項	環境管理、品質管理、SDGs 関係

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

本年度も外部からの苦情、要望等ありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：火災の発生	
■実施日：2022年12月1日	■実施場所 共和鋼業株式会社 東大阪工場
■参加者：全員参加	
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 消火器位置及び使用方法の確認、期限の確認、避難経路の確認、火災発生時の動きの確認	
■評価：全員参加により、手順書の有効性が確認できた。手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年8月31日

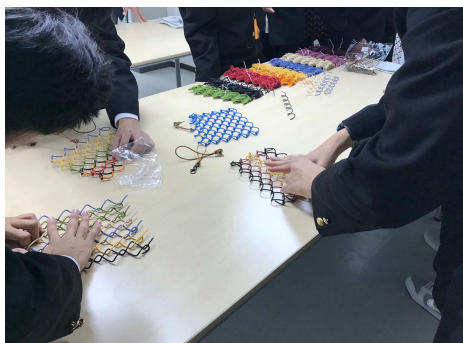
達成できた項目：電力（使用量）、自動車燃料の削減、灯油使用量の削減、一般廃棄物の削減、水使用量の削減
 達成できなかった項目：電力（原単位）
 売上に対しての電力の使用量の削減が達成できなかった。これは、売上減と製品と工事の構成差によるもの大きいと考える。
 やってきたことは間違えていないと思うので、引き続き節電の強化、使用しない時の機械の電源OFFの徹底による使用電力の削減の強化を進める。加えて、新製品の販売、用途提案強化や工事を増やすことによる売上高の増加を目指す。達成できているものについても、さらなる改善策を講じ、少しずつでも削減を進めていきたい。また、地域への貢献、モノづくり企業としてモノづくりの継承という意味での社会貢献も意識し、引き続き社員一丸となり、継続していきたいと考える。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

2022年 10月～ 修学旅行生の工場見学受け入れ開始（月1～2回程度）

共和鋼業の主力工場 モノづくり＝教育と考え、次世代のモノづくり人口を増やすために見学受け入れ



10月22日（土）NHK「探検ファクトリー」出演



11月5日(土) 花園エキスポに出展。近畿大学と共同で端材を活用したワークショップを開催



11月17日(金) 18日(土) オープンファクトリー「こーばへ行こう！」開催 約150人が参加。



こーばへ行こうで参加者で制作した干支のグラフィックフェンスは
東大阪市役所1階ロビーに一年間掲示

12月1日(木) 火災訓練実施、ハザードマップ確認
2023年 2月27日(月)28日(火)3月1日(水) NHK朝ドラ「舞いあがれ！」
ひし形金網工場の話に脚本やハンモック等の制作で協力



3月12日(日) NHK「なにわんFes」出演



□編集後記

取り組みは日々の積み重ねであり、これが結果として現れるのがこのレポートであり、短期間ではなく長期間の
スパンで見えていく必要があると感じた。
振り返るとこの一年、メディア出演など共和鋼業株式会社が露出することが増えた。それはより社会から見られ
ることが増えるということ。ここからどう環境はじめ周囲に向き合うかが問われていると思う。引き続き環境経
営に取り組んでいこうと思う。